

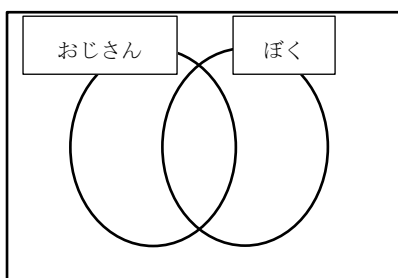
ロジカルツールを活用する
～考え、議論する道徳を深めるために～

2019.9 房本 吉弘

子どもが、図などを手がかりにして、自分の思いや考えを見つめ、表現しやすいことがよくあります。抽象的な思いや考えを、具体的な図に当てはめることで、自分の思いや考えが明確になります。また、ペアやグループの話し合いの内容が焦点化され、主体的に学習を進めていく支援ともなります。さらに、授業前の教材研究の際に、内容を構造的に捉えることにも役立ちます。

折に触れて、ワークシートや板書をロジカルツールにデザインしてみてはいかがでしょうか。

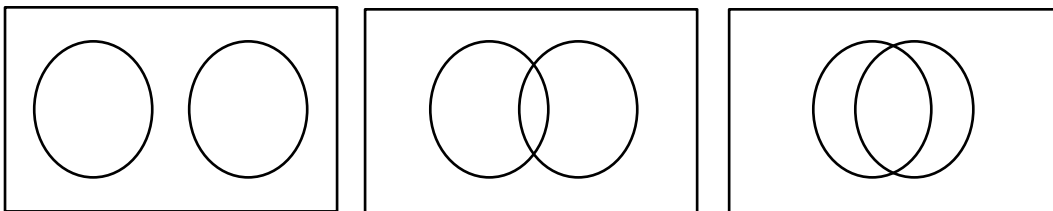
【ベン図】 共通点や相違点を明確にする



学研 小学校3年「新かん線で」

のぼる君に新聞紙や紙コップの水をあげるおじさんと、降車したおじさんが忘れたメガネを返そうとするのぼる君の、共通している思いを考えさせることで、二人の行為を支える、相手を思いやる気持ちに気づかせるときに活用できます。

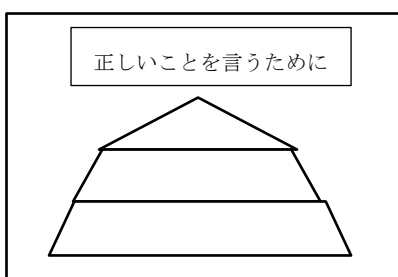
ペアトークで



自分の思いや考えを書いて、ペアトークで交流する際、この3枚のカードを提示して、「互いの思いや考えは、違っていませんか。それとも。同じところがありますか。または、大きく重なっていますか。」と補足します。すると、子どもたちは、互いの思いや考えを見直し、共通点や相違点を見つけ、ペアトークをしたよさを感じることが出来ます。

その後、ペアから共通点や相違点を出し合うと、みんなの思いや考えが明らかになっていきます。

【ピラミッド】 思いや考えを層として捉える

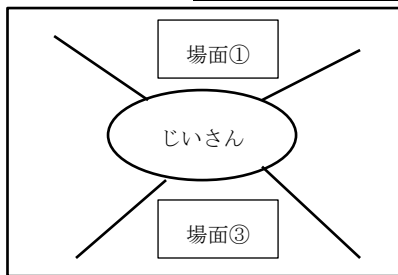


東京書籍 小学校3年「SL広場で」

一番下の層では、正しいことが言えない気持ちを考え、二番目の層に、正しいことを言わないといけない理由、そして、一番上の層には、正しいことを言うために必要な思いや考えを考えさせます。

思いや考えを構造的に視覚化できます。

【太陽型①】真ん中のテーマについて場面ごとに考える

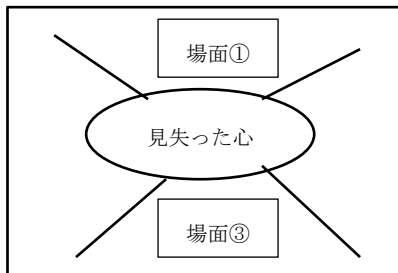


日本文教出版 小学校 6 年「最後のおくり物」

ジョルジュじいさんの、ロベータに対する気持ちを、場面ごとに考え、まとめます。

これをまとめた後、「深い思いやりとは、どんな思いやりだと思いますか。」と主題に迫ります。

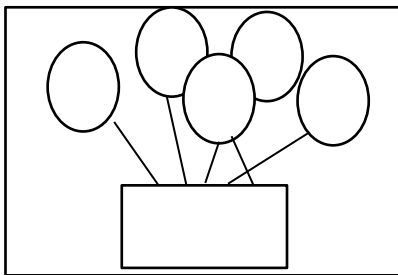
【太陽型②】周りの場面の思いや考えから共通点を考える



日本文教出版 中学校 1 年「偽りのバイオリン」

有名な演奏家の依頼を、無理を承知で受けた場面、ロビンが作ったバイオリンに自分のラベルを貼り替えた場面、本当のことを言い出せずに胸を痛める日々を送る場面から、フランクが、自分を見失った理由を考えます。

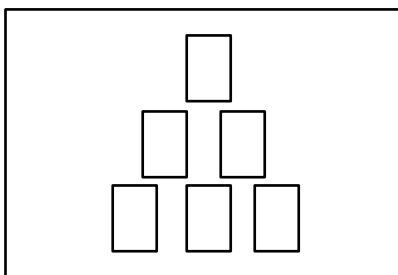
【太陽型②応用】



日本文教出版 小学校 2 年「きまりのない学校」

教材に描かれている「きまりのない学校」になると、どうなってしまうかをグループで風船に書かせます。次に、どんな思いや考えだからそうなるのかを下の□に書かせます。そして、そうならないように、どんな思いや考えをもつとよいか考えさせます。出てきた思いや考えが、本当に風船や下の□をなくしているか、再度論議させます。

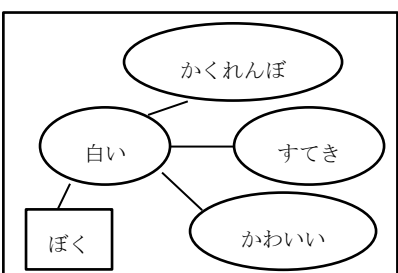
【ランキング】いくつかの思いや考えから最も強いものを考える



日本文教出版 小学校 5 年「折れたタワー」

タワーを壊したのりおを許すには、様々な思いが必要です。グループにそれらの思いを持ち寄って、多面的に感じさせます。その後、それらの中で、最ものりおの心に響く思いは何かを話し合わせます。

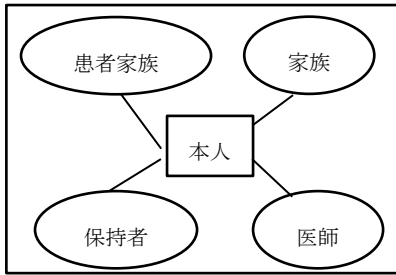
【ウェビング①】中央から関連する内容を多面的に広げる



日本文教出版 小学校 1 年「ぼくは小さくて白い」

ペンギンの子が、自分の白さや小ささに不安をもっていることに、母ペンギンが、白さは、かくれんぼが一番になるなど、それらのよさを言います。子どもたちにも、それを参考にさせて、個性を多面的に考えさせます。

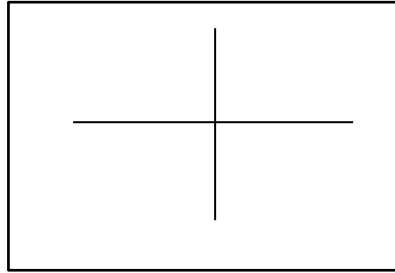
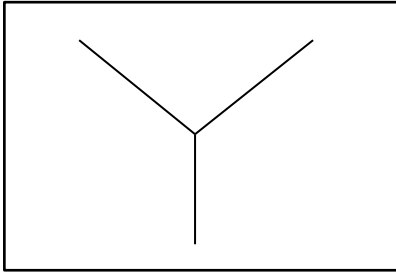
【ウェビング②】



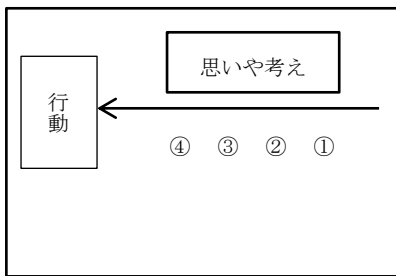
日本文教出版 中学校3年「臓器ドナー」

臓器提供を待つ人の思いを中央に、その家族、医師、ドナーカード保持者とその家族、脳死判定を受けた患者の家族が、それぞれの思いをもって、その人の命をつなごうと考えているところから命の大切さを考えさせたい。

【分割】いくつかの場面を中央に集めて見やすくする



【順序立てる】行為に至るまでの様々な思いを順序立てる



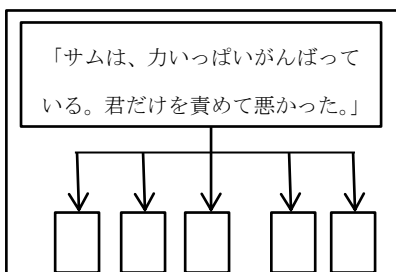
日本文教出版 小学校6年「心づかいと思いやり」

「階段の下で止まっている車いすの人を見かけたとき、どんなことを思いますか。」と問うと、「大丈夫かな。」「手伝おうかな。」「恥ずかしいな。」など様々な思いが出てきます。その多様な思いを、「お手伝いしましょうか。」と声をかける行為に至る心の動きを順序立てて考えさせます。

- ①「大丈夫かな。」 ②「恥ずかしいな。」 ③「誰も声をかけないな。」
 ④「よし、手伝おう。」 ⑤「どんな言葉をかけるといいかな。」
 ⑥「お手伝いしましょうか。」

この順序は、一人ひとり違ってよく、最後に、自分はどこまでの心の動きができるかを見つめさせ、その次の動きに進むための気持ちを考えさせます。

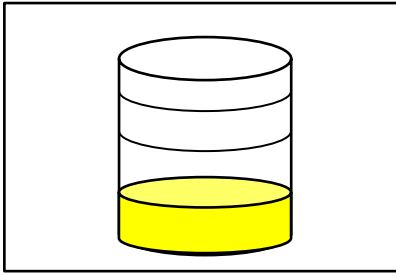
【解きほぐす】一つの行為や言葉に込められている様々な道徳的価値を明らかにする



小学校高学年「ブランコ乗りとピエロ」

ピエロが、ブランコ乗りのサムに語り掛ける言葉には、様々な道徳的価値が含まれています。「サムは、力いっぱいがんばっている。」と相手の努力を認める相互理解の思い、「君だけを責めて悪かった。」と自省の気持ちなど、互いを認め合うには、一つの思いでは言い表すことができないことをよく物語っています。それを、このピエロの言葉から丁寧に解きほぐし、「一番、サムの心に響いた言葉は何だろう。ピエロのどんな思いが伝わったのだろう。」と深めていきます。

【量で表す】行為に至る思いや意欲を視覚化する



日本文教出版 小学校 1 年「かずやくんのなみだ」

「入れてあげよう。」など、言いにくいことを言うには、様々な思いや考えが必要です。色を塗ることで、その必要性や、意欲の高揚が、量的に見て取れます。

グループの人数分に線を入れて、みんなの思いをまとめます。

【二者択一】判断や行動の善し悪し、行動の選択を表す

日本文教出版 中学校 3 年「二通の手紙」

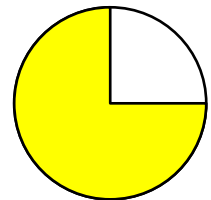


元さんが、規則を守らず、姉弟を入園させたことについて、支持するかどうかを三色のカード（支持する・支持しない・分からない）で表します。

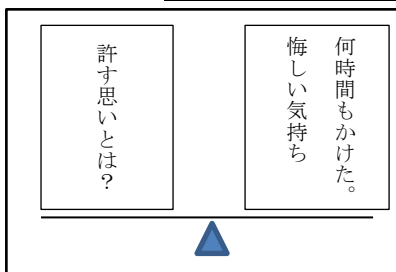
【割合】二者択一では表せない思いや考えを円盤で表す

小学校 高学年「手品師」

「大劇場に行く」か「子どもに手品を見せる」かの思いや考えは、どちらも含むものです。それを割合にして表すことで、人間としての心の複雑さに触れさせます。



【天秤棒】思いや考えを比べたり、左右の思いや考えを均等にしたりする



日本文教出版 小学校 5 年「折れたタワー」

何時間もかけて作り、先生にも褒められ、お父さんに見せるのが楽しみだったタワーを壊され、マスクを忘れて罵倒された悔しさもある気持ちを、許す気持ちにするには、どれだけの思いや考えが必要なのかを考えさせます。

人間の思いや考えは、一様ではなく複雑です。ロジカルツールは、それを視覚化し、整理して、見つめやすくします。しかし、ロジカルツールは、あくまでもツールであり手段です。大事なことは、子どもが、それを活用することで自分の思いや考えを見つめ、表現することです。そして、自分や友達の思いや考えを出し合い、多面的な見方や考え方、感じ方を深めることです。

ただ、それもまた、深い学びに至る途中です。最後には、子どもの生き方に響く発問を用意する必要があります。

いつも、子どもたちが、「学びの、その先へ」向かっていくような授業をしていきたいものです。